児童文学作品紹介フリーペーパー

紙版 ハコブネ×ブックス vol 44

https://hakobune.wp-x.jp

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・ＹＡ作品を未来に語り継ぐ web サイトです。

特集 ビジネスに挑む

画期的なアイデアで新しいビジネスをたちあげる。起業は誰にでも与えられたチャンスであり、小中学生であってもその当事者になることができます。ゼロから価値を生み出すアントレプレナーやスタートアップ企業の理想は現代ではより推奨され、大志を抱くことを促されています。児童文学の中ではビジネススピリットを持った子どもたちもまた描かれます。成功を収めるには思いつきだけではなく相応の努力が必要です。物を作って売ったり、サービスを提供するだけではなく、コストを勘案してプロフィットを作り出す才覚が望まれます。なによりも一緒に働く仲間たちの適性を見極め、それぞれが果たすべき役割をコーディネートすることがリーダーたる経営者の資質なのです。これは子どもたちが挑戦することができる大いなる冒険です。快進撃を続けながらも、ちょっと自分自身を見つめ直す匙加減もまたビジネス系児童文学の味わい深さです。

青く塗りつぶせ

作　者　阿部夏丸
出版社　ポプラ社
発　行　2021 年 7 月
ISBN　978-4591170557

review

都会の学校でいじめに遭い不登校を続けていた少年、セイは、父親の転勤を機に母親と二人で人口五百人ほどの離島に移り住みました。当初は一学年六人の島の学校になじめなかったセイも、フレンドリーな級友たちのおかげで、島の少年としてアクティヴな毎日を送れるようになり、六年生に進級します。そんな折、同級生の一人、カイトが海の事故で両親を亡くし、祖父の漁を手伝うため学校にこなくなります。カイトを経済的に支援しようと同級生たちは会社を立ち上げることを決意します。島の海岸で貝殻やビーチグラスを集めてウェブサイトで売る。商売は順調に発展しますが、漁業権の問題など複雑なトラブルも発生します。ビジネスを通じて、怒りや悔しさ、そして歓びを友だちと共有することで、セイは心の中のわだかまっていた気持ちを解放していきます。

モンスーンの贈りもの

MONSOON SUMMER.

作　者　ミタリ・パーキンス
翻訳者　永瀬比奈
出版社　鈴木出版
発　行　2016 年 6 月
ISBN　978-4790233176

review

カリフォルニア州に住む高校一年生の女子、ジャズは、友人のスティーブと始めた特別な絵葉書を作って観光客に売るというビジネスを成功させて収入を得られるようになりました。夏休み、社会活動家でもある母親の故郷のインドにしばらく滞在することになったジャズは、自分が不在の間にスティーブが他の女の子と仲良くなることを心配していました。大柄な自分の容姿にコンプレックスがあり、好きだと言い出せないジャズ。インドで母親が育った孤児院を訪問したジャズは、孤児の少女ダニタと親しくなります。経済的苦境から意に沿わない結婚を強いられているダニタを見かねたジャズは、匿名で出資して、ダニタのアクセサリー作りがビジネスになるよう支援します。自分に自信が持てなかったジャズもダニタから勇気をもらい、恋を成就させるために前へ進みます。

アップサイクル！ ぼくらの明日のために

作　者　佐藤まどか
出版社　ポプラ社
発　行　2023 年 10 月
ISBN　978-4591179260

review

中学二年生の男子、丈（じょう）のクラスでは夏休みにグループでの自由研究の課題が与えられました。幼なじみの活発な女子、紫月（しづき）と、数学とＩＴが得意な自称天才の男子、王（わん）とグループを組んだ丈はテーマを模索します。三人は、大学生ながら発明家でもある紫月の姉から捨てられてしまうものに価値を付加して再利用するアップサイクルという概念を教えてもらいます。古いミシンを活用してテーブルを作ってみますが、ただ物を作るだけでは飽き足らず、王から中高生だってスタートアップ企業をおこせると促され、これを継続した事業にしたいと考えます。ウェブサイトでアップサイクルのための交流の場所を立ち上げた三人は、知名度をあげるための営業活動や交渉を続けます。こうして課題を乗り越えながら、中学生たちは法人化していくのです。

起業家フェリックスは 12 歳

Felix Unlimited.

作　者　アンドリュー・ノリス
翻訳者　千葉茂樹
出版社　あすなろ書房
発　行　2023 年 2 月
ISBN　978-4751531365

review

十二歳のフェリックスは数々のアイデアで商売にチャレンジしてきたビジネス意欲が旺盛な英国の少年です。いずれも上手くいくことはなく、周囲に迷惑をかけることもしばしばありました。そんな彼が、母親に贈るために友人のモーが描いたイラストの画像から作ったバースデーカードが評判となり、多くの人たちから分けて欲しいと要望されます。驚いたフィリックスは、モーと二人でこれをビジネスにすることを思い立ちます。手売りから始めて、まだ普及したばかりのインターネットでウェブサイトを立ち上げて通信販売をする。好評のため規模はさらに大きくなり、友人たちをスタッフとして巻き込んでいきます。起業家として成功している叔父さんのアドバイスを受けながら、ビジネス課題と向き合うフェリックス。やがてひとつの事業の終焉を前に、彼は大きな決断を迫られることになります。

ドリーム・プロジェクト
（濱野京子）
PHP 研究所 2018 年

ビジネスを始めるには元手が必要です。かつて祖父が暮らした古民家を人が交流できるカフェにしたいと考えた中学二年生の拓真は、クラウドファンディングで資金を調達しようと募集をはじめます。お金も出すが口も出す出資者たちに翻弄されながら、拓真は夢を実現させていきます。

特集
ビジネスに挑む

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.44
2024 年 5 月 1 日発行　●発行人 きむらともお
事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト ハコブネ×ブックス（非営利）を運営しています。日本児童文学者協会第 6 回児童文学評論新人賞佳作他,諸々を受賞。

旧 Twitter 連携しています。
@ tomoostretch